


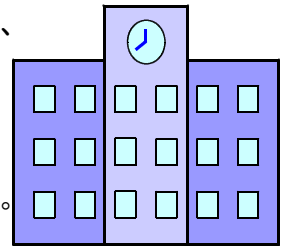
学校 通信 3-3		かけはし	教育 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学び合う子 ・つながり、 支え合う子 ・たくましい子 	武蔵村山市立 第九小学校 校長 村山 博子 令和3年6月1日
-----------------	---	------	---	---

地域の学校として

校長 村山 博子

昨年の今頃は、コロナ禍による休校からの学校再開に向けていろいろな対応に追われていました。それを思うと、本市の学校現場は少し落ち着きを取り戻し、様々な活動を可能な方法で実施するように考えています。皆様の御協力により、九小では今までに関係者から一人の感染者も出ず、ほぼ例年通りの活動を行っています。各学年の校外学習や、再来週の6年生日光移動教室、今週末の道徳授業地区公開講座と引き渡し訓練も実施予定です。引き続き感染防止に御協力をお願いいたします。

さて、そんな中で最近、少々気になることがありました。近隣の方々から九小に苦情のお電話をいただくことが続きました。一つ目は、学区内の入居者があまりいないマンションに入りこんで騒ぎ、駐車場で遊んでいるという件。二つ目は、周りが家で行き止まりになっている私道で親子が遊んで騒いでいるという件。三つ目は、家の前にあるポールを倒しながら登校しているという件。四つ目は、児童が家の前で待ち合わせでたまっていたときに車が通るときに危ないという件。五つ目は、学区内の公園で児童が遊んでいるときにお菓子のゴミを食べ散らかしているという件。六つ目は、児童が登下校の際に車で送迎するため、狭い道路に駐停車していて危険だという件。



近隣の方々からすれば、学校に言うしかないと思われて、かなりお怒りのご様子でお電話をいただくことも多いので、それぞれの件に対して学校として謝罪し、必要があれば現場に行き、事情を聞いて指導をしてきました。授業でも日常的に社会や地域のルールについて指導は繰り返していますが、原則として校外のトラブルを学校が解決することはできません。

御家庭には様々な事情があり、そのご家庭なりのルールがあることと思います。基本的に学校は、放課後や休日の子供達の生活には関わられません。その部分の安心と安全を確保して頂くには、御家庭と地域の方々にお問い合わせするしかありません。子供が周りに迷惑をかけるような遊び方をしていないか、ヘルメットなしで交通ルールを無視して自転車に乗っていないか、大人が目が届かないところで、子供がどんな行動をしているのか、話し合ってみてください。

これからの時代を生きる子供たちに身に付けて欲しいことは、自分で考えて判断して行動する力です。なぜ禁止されているのか、なぜこのルールが必要なのか、真剣に自分自身の頭で考え、その時点で最善と思われる判断ができる人間になって欲しいと願っています。何でも指示して、その通りに行動するだけの子供になって欲しい訳ではありません。できれば、子供同士のトラブルは子供同士で解決できるようになって欲しいと思っています。それと同様に、地域内のトラブルも大人同士で解決できるように、普段からお互いにご近所同士の連携を深めていただき、地域全体で子供たちを見守って育てていただきたいと思います。学校でも様々な取り組みでそのような力を子供たち育てて行きたいと思っています。何よりも大切なことは、各御家庭での意思疎通ではないでしょうか。日々の生活を通して子供たちに正しい価値観を身に付けさせると共に、本当に必要なルールが何かを親子で考えていただきたいと思います。今後とも御理解、御協力をお願いいたします。